南大和グループ広報誌 | MinamiYamato Group Public Relations Magazine　TAKE FREE

みなみやまと 81

2023.1

特集　南大和病院　新年にあたり

病院長 茅野 修史 ごあいさつ

表紙のひと

医療法人 新都市医療研究会「君津」会
池田 重雄 理事長

医療法人 新都市医療研究会「君津」会は、2022年に創立50周年を迎えました。
東京大学医学部第二外科の医局長が中心となり結成された当法人ですが、
創立当初からの 地域医療を最優先する、というスタンスは今も変わりません。
“いつでも、どこでも、だれでも”安心な医療を受けられるように
君津会は常なる発展を目指していきますので、
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

information

大和市・綾瀬市
がん検診 まだ間に合います！

がん検診（厚労省指針・早期治療が基本です。南大和病院では、胃・肺・大腸・乳がんの各がん検診やPSA検査（前立腺がん）、骨粗しょう症検診などを行っています。お住いの自治体・勤務先により助成内容は異なりますが、検診は大和市在住・在勤・在学の方は無料で受診できます。綾瀬市在住の方は一部自己負担金が必要となります。詳しくは各自治体にお問い合わせください。

【当院の胃がん検診について】
胃がん検診は、2つの検診方法（バリウム検査「内視鏡検査」）から選ぶことができます。
当院の特徴のひとつに、内視鏡検診があります。経口内視鏡検診は、経鼻内視鏡検診と比べ、検査時間が短く、検査中の苦痛が少ないのが特徴です。
また、経口内視鏡検診は、年間の胃内視鏡検査件数が5,000件以上の施設で検査を受けた方に対して「高精度の胃内視鏡検査を受けた」ことを認定する制度です。当院では、2021年に認定を受けており、安心して検査をお受けいただけます。
内視鏡検査の詳細については、内視鏡センターまでお問い合わせください。

【当院の乳がん検診について】
当院では、乳がん検診に、マンモグラフィ（乳房X線検査）と超音波検査（エコー）を組み合わせて行っています。
マンモグラフィは、乳房を2方向から圧迫板で挟んで撮影するため、痛みを感じる方もいらっしゃいますが、検査時間は数秒で終了します。
超音波検査（エコー）は、乳房に超音波を当てて、乳腺の状態を観察する検査です。痛みを感じることはありません。
マンモグラフィでは、乳腺が多い方は乳がんを見つけにくいことがあります。超音波検査（エコー）と組み合わせることで、乳がんの発見率が高まります。
また、検査後の乳腺症等の経過観察にも超音波検査（エコー）は有効です。
上部エックス線（バリウム）検査と乳房検査を同時に受けることはできませんので、何れか1つの検査をお選びください。
乳がんは、早期発見・早期治療が大切です。
当院では、乳がん検診を積極的に行っております。
ご自分の健康のために、ぜひ乳がん検診を受けましょう。

予約専用ダイヤル
046（269）5000

帯状疱疹 予防接種のご案内

帯状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルス（水痘・帯状疱疹ウイルス）が原因の病気です。水ぼうそうになると、治った後もウイルスは体内に潜み続けています。そのため、水ぼうそうにかかったことがある人なら、ウイルスが体内に潜み続けている可能性があります。帯状疱疹は50歳以上で発症が増加し始め、加齢とともにさらに増加し、80歳までに約3人に1人が帯状疱疹にかかるといわれています。

この機会に帯状疱疹予防接種をご検討ください。

帯状疱疹について詳しくはこちらへ
「帯状疱疹予防」JP

南大和病院では、水ぼうそうと同じウイルスが原因の帯状疱疹を予防接種で予防することができます。

南大和グループ広報誌
みなみやまと
第81号 2023年1月1日 発行

発　行　者：南大和病院
発行責任者：南大和病院長　茅野修史
企画・編集：南大和病院　広報委員会

医療法人 新都市医療研究会「君津」会
南大和病院
〒242-0015 神奈川県大和市下和田1331-2
電話　046(269)2411（代表）
URL　http://www.minamiyamato-hosp.or.jp/

南大和病院／南大和クリニック／南大和歯科クリニック
南大和老人保健施設／南大和訪問看護ステーション

南大和病院 新年にあたり

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が始まってから2年が過ぎました。この間に、診断法（自己抗原検査キット、PCR検査）、治療法（ワクチン、3密回避、マスクと手洗い、治療薬（内服薬、点滴薬）が開発されました。感染しても、新型コロナウイルスは多くは感染の発症率を持つ感染力の強い変異株であります。それは結核やインフルエンザ同様、新型コロナウイルスも常在化するつもりも、バランスよく他の病気にも目を向けた時期に来たと言えます。

ここで昨年を振り返ると、2022年に取り組んだことを振り返り、そこに積み重ねて2023年の抱負を述べたいと思います。

まず急性期病院ですが、救急車受け入れ台数は1,800台前後、手術件数は800件前後となっています。前立腺肥大症に対するレーザー手術数がますます増え、全国でも最初の症例数となっています。【資料1】。内視鏡（そけい）ヘルニア（鼠径部ヘルニア）と虫垂炎手術に関しては、ほぼ腹腔鏡下だけの低侵襲となっています。【資料2】。また、食事摂取困難な患者さんに対しても腹腔鏡下栄養管理を積極的に施行しています。【資料3】。

医療機器としては、最新の4眼下V装置を導入しました。【資料4】。

病院施設としては、第2期部分移転整備に入院送迎駐車場を拡張しました【資料5】。

慢性期医療では、組織として分離した医療専門と介護専門を統合しました。ますます需要が見込まれる在宅医療と介護に注力できる体制整備ができました。昨年の在宅医療の訪問数は年間約6,000件となっており、今後さらに需要が見込まれます。

介護老人保健施設では、入所者様1人1人に寄り添ったケアを行うことを目標としています。

病院機能評価は、2022年に3rdG:Ver.2.0を受審し、一般病院2としては、全国で初めて認定されました。

リハビリ部門では、2022年に入院患者様の1日平均リハビリ提供単位数が1,000単位を超えました。

2022年2月に入院が始まった緩和ケア病棟ですが、現在は千葉と君津市川に2病院、4診療所、老人保健施設から地域包括ケアステーションなど関連施設を持つ一職員数が約1,000名の一大組織となりました。

創設者たちが掲げた「ついでも、どこでも、だれでも望める医療を提供する」という理念のもと、時代により変化していく努力をしていきました。これからも「立ち止まらず、変化を恐れず、逃げない」この地域の皆様のお役に立てるよう、スタッフ一同努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

病院長　茅野　修史

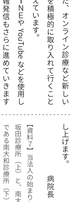
【資料1】当法人の始まりとなった「たかや堂整形外科医院」の開院時の写真。南大和病院の前身である。

【資料2】2022年3月に導入した最新X線診断装置システム「CUREVISTA Apex」

【資料3】「名医のいる病院2022」に当院の医師が掲載されました。

【資料4】最新の4眼下V装置 ポジウム

【資料5】2022年3月に開設した当院のホームページ。



【資料6】当院の情報発信のために作成した院内パンフレット。

LINE お友だち登録はこちら

YouTube チャンネル登録はこちら

そのための足台策として国際連携室を立ち上げました【資料6】。具体的には専任通訳（スペイン語、ポルトガル語、カンボジア語、ベトナム語、中国語、フィリピン語、ネパール語）を雇用しました。

本年は、在宅診療をさらに発展させたいと思います。訪問医療、リハビリなどの対応は勿論ですが、地域包括ケアステーションを立ち上げます。

病院とクリニックでは、電子カルテを統一化し、情報の一元化を図ります。

また、オンライン診療など新しい技術を積極的に取り入れて行こうと考えています。

LINEやYouTubeなどを使用した情報発信もさらに進めていきます【資料7】。

昨年2022年は、当法人にある新都市医療研究会（君津）会が業界最古の歯科診療所（ユニット）を50年を迎えました【資料8】。1972年2月に、君津市に小さな診療所を始めて50年を迎えました【資料9】。

【資料7】当院のホームページ。

【資料8】50年前の開院当時の写真。

【資料9】50年後の現在の写真。

【資料10】2022年3月に開設した当院のホームページ。

【資料11】2022年3月に開設した当院のホームページ。

【資料12】2022年3月に開設した当院のホームページ。

南大和 Minami Yamato Eating and Swallowing Support Team
摂食嚥下サポートチーム結成!!

南大和公式動画サイト「みなみやまとチャンネル」にてリハビリ部【PT木村の体操シリーズ】好評配信中です！
https://www.youtube.com/channel/UCPuFBrGP0Sa3N-rkXP4aC2w

南大和クリニック通所リハビリでは、言語聴覚士による言語聴覚療法（ST）と個別理学療法（PT）を行っています。

失語症や構音障害などの言語の障がいだけでなく、食事取り組みの方や飲み込みに不安がある方など対応を行ってきました。

今回、南大和クリニック全体で摂食嚥下（せっしょくえんげ）サポートチーム結成に向け、南大和クリニック通所リハビリでのお取り組みについてお話させていただきます。

南大和グループは訪問看護ステーションや老人保健施設（ケアセンター）、南大和クリニック（通所リハビリ）、南大和病院（入院）と様々な場所でリハビリを行っております。

誤嚥性肺炎が原因で入院される方の多くは、ご高齢で食事の際にむせこみが多かったり、食事量が減ってきたりなどの変化があった方が多くいらっしゃいます。

また、ご高齢でなくても、脳梗塞や脳出血などの病気をされた方の中にも、飲み込みに不安がある方や食事量が減ってきた方などがいらっしゃいます。

南大和グループでは、そのような方々に対して、入院中から退院後の生活を見据えた食事の取り組みを行っております。

通所リハビリでは、入院中から継続してリハビリを行っている方や、退院後に飲み込みや食事量の変化があった方など幅広くリハビリを行っております。

通所リハビリにて
低周波治療器 POSTIM（ポスティム）導入

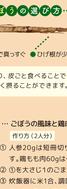
南大和クリニック通所リハビリでは、新たな試みとして2022年12月から低周波治療器POSTIM（以下ポスティム）を導入しました。

このポスティムは、口腔周囲の筋肉に電気刺激を与えることで、口腔機能の改善を図ることができる機器です。

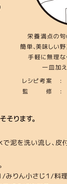
（令和上previous部）の微化を改善することや、飲み込む力が強くなったり、飲み込みやすくなったりする効果が期待されます。

これにより食事形態の変更、ムセや誤嚥の減少が期待されます。

ご興味がある方は、通所リハビリまでお気軽にご相談ください。

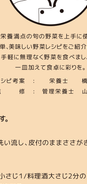


使用前



使用後

おすすめ！野菜レシピ



冬の食材 ごぼう

栄養満点の旬の野菜を上手に使った簡単、美味しい野菜レシピをご紹介します。手軽に栄養な野菜を食べましょう。

一品加えて食卓に彩りを。

しらび病院　：　栄養士　橋本 里穂
監　修　：　管理栄養士　山本 東京

一般的なごぼうは秋から冬にかけて収穫最盛期ですが、新ごぼうは4～6月頃に収穫されます。

ごぼうの香りの成分は、食物繊維の一種であるイヌリンは腸内細菌のエサとなり、腸内環境を整える働きがあります。

食物繊維の一種である水溶性食物繊維が豊富に含まれています。

食物繊維の一種である水溶性食物繊維は腸内細菌のエサとなり、腸内環境を整える働きがあります。

ごぼうには植